



中国 M2M 市场通信

Volume 4 No.2

2015年2月



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F
TEL: 045-476-5170(代) FAX: 045-476-5171
URL: www.cathay.jp



中国 M2M 市場通信 '15.02 月

【目次】

産業研究

- [鄭州市、2020 年に千億元の物聯網産業都市へ](#)

業界利用

- [サムスン、3 年以内にテレビはすべて物聯網対応](#)

モバイルモノのインターネット

- [中国電信と中国聯通、FDD-LTE ライセンスを正式受領](#)

スマート都市

(今号では記事はありません)

業界動向

- [ARM と IBM、物聯網開発キットを発表](#)
- [MTK、下半期車両用4G チップセットを発表する予定](#)

新製品

- [ブロードコム の Android スマートウォッチリファレンスデザイン](#)

展示会速報

- [中国・アモイ国際物聯網博覧会](#)



産業研究

■ 鄭州市、2020年に千億元の物聯網産業都市へ

鄭州市政府は2月26日「鄭州市千億級物聯網産業発展实施方案(2015~2020)」を発表し、2017年には700億元を突破する産業規模とし、2020年に千億元を目指すという。

そのため、2017年までに百億元規模の企業を2社、50億元規模の企業を5社、10億元規模の企業を6社育成し、競争力のある革新的な中小企業を200社集積することを想定している。また、物聯網上場企業を2~3社増やし、三つの物聯網産業ゾーンを構築する予定。

2020年には、百億元規模の企業を5社、50億元規模の企業を6社、10億元規模の企業を10社育成し、中小企業は500社成長させることを想定している。物聯網上場企業は3~5社とし、国家レベルの物聯網産業基地を構築する案となっている。

業界利用

■ サムスン、3年以内にテレビはすべて物聯網対応

最近開催された“中国サムスンフォーラム”で、サムスンはSUHD規格の超高精度テレビJS9900、JS9800、JS8000シリーズを発表した。画面サイズは55インチから88インチ。

サムスン電子大中華区総裁の朴氏は、2014年までの9年間、サムスンテレビの市場シェアは、グローバルでNo.1となっている。2017年には、すべてのサムスンテレビが物聯網対応し、五年以内にすべてのサムスン製品が物聯網対応をする予定だと述べた。

サムスンは、まずテレビの物聯網対応推進していく。そうすれば、携帯、PC、テレビ、冷蔵庫、空調等を接続する、サムスンのエコシステムが構築できる。エコシステムが出来ること、市場競争力をアップすることが出来ると考えている。

モバイルモノのインターネット

■ 中国電信と中国聯通、FDD-LTEライセンスを正式受領

工信部の電信管理局は、2015年2月27日付けで中国の移動体通信事業者であるChina Telecom(中国電信)とChina Unicom(中国聯通)に対し、FDD-LTE方式のライセンスを正式に交付した。

これにより、China TelecomとChina Unicomは正式にFDD-LTE方式で商用サービスを提供できることになる。



中国政府がTD-LTE方式を推進する意向であったため、早期からFDD-LTE方式の導入を表明していたChina TelecomとChina Unicomに対しても、先にChina Mobile(中国移動)と同様TD-LTE方式による商用サービスのライセンスが交付されていた。

FDD-LTE方式とTD-LTE方式のハイブリッドネットワークを運用するための試験サービスとして2014年6月にはChina TelecomとChina Unicomに対してFDD-LTE方式の限定的なライセンスを交付されていたが、ようやく正式に商用サービスのライセンスが交付されることになり、中国全土においてFDD-LTE方式での展開が可能となる。

FDD-LTE方式の周波数はChina TelecomがFDD-LTE 2100(B1) MHzの25MHz幅*2を保有し、China UnicomがFDD-LTE 1800(B3) MHzの30MHz幅*2を保有しており、両社ともまずは20MHz幅*2で運用を開始しており、通信速度は下り最大150Mbps/上り50Mbpsとなる。

業界動向

■ ARMとIBM、物聯網開発キットを発表

2月25日、物聯網市場の発展を促進するため、イギリスチップセットベンダーARMとアメリカITベンダーIBMは、“スターターキット”を発表した。

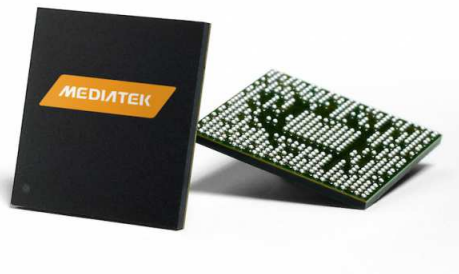
その物聯網スターターキットは2つのボードで構成されている。一つはARM Cortex-M4 CPUとメモリを搭載したマイクロコントローラボードであり、シングルタスクが動作する。もう一つは、センサー拡張ボードで、温度計、加速度計、2つの調光ボタン、ブザー、小型コントロールレバー、LEDランプとモノクロLCDが組み込まれている。

■ MTK、下半期車両用4Gチップセットを発表する予定

MTK総経理の謝氏はMWC2015において、下半期に車聯網(Internet of Vehicles)に進出し、中国の車両メーカーと連携し、車載用4Gチップセットを出荷することを初めて宣言した。

車載用4Gチップセット以外にも、ADAS(Advanced Driver Assistance Systems)など、高度な車載用システムも出すとのこと。

2013年にMTKは、中国でAutochips Inc社を設立し、R&Dセンターもおいた。車載用SOC、Wi-Fi、BTなどの開発/生産を行っている。



新製品

■ ブロードコム社の Android スマートウォッチリファレンスデザイン

ブロードコムは、Android Wear OS を搭載するスマートウォッチの開発を容易にする、自社開発した Android スマートウォッチのリファレンスデザインキットを公開した。Google ソフトが未対応の機能も集積している。そのデザインは、クアッドコア CPU、2G/3G モデム、WLAN、BT4.2、GPS、NFC、無線充電及びカメラ(オプション)からなっている模様。



MWC2015 で展示するとしている。

展示会速報

■ 中国・アモイ国際物聯網博覧会

会場:アモイ国際展覽中心

会期:2015年6月2日~6月4日

出展内容:スマートシティ、スマート園区、スマート旅行、スマート交通、スマートファミリー、スマート医療、スマート教育、スマート商流と物流、スマートセキュリティ、環境保護、物聯網部品とネットワークキャリア

URL: <http://iotfair.net/>

- ご愛読ありがとうございました -